

# 尼崎の未来に向けたまちづくりについて

～フリートーク型～

立花南生涯学習プラザにて



令和7年9月13日、尼崎市のまちづくりについて、参加者の皆さまに説明し、また参加者の皆さまからは、高齢者施策や、尼崎をもっと良くするための提案など、様々な意見をいただきました。

## 身寄りのない高齢者への支援

### 【参加者からのご意見①】

高齢者等終身サポート事業（※）を構築してほしい。市には既に様々な高齢者施策（フレイル予防や高齢者生きがい就労事業等）があるため、組み合わせることで幅広い支援につながると考える。

（※身寄りのない高齢者などを対象に、家族の代わりに身元保証、入院・施設入所の手続き支援、日常生活の見守り・買い物代行、葬儀・遺品整理などの死後事務まで、生涯にわたる包括的な支援を行うサービス）

### 【これからの対応について】

身寄りのない高齢者等への支援については、国の検討会議において方向性が示されたところです。

今後の国の制度化が進む際、適切に対応できるよう、先行自治体の取組も参考にすることで、効果的な支援策の検討を進めていきます。



## 社会福祉協議会の加入人数の増加に向けて

### 【参加者からのご意見②】

今後も独居の高齢者が増えていくことが想定される中、社会福祉協議会（自治会）の加入人数が増えず、地域のつながりを維持することが難しい。

地域で対策するにも限界があるため、市で施策を考えてほしい。

### 【現在の対応などについて】

地域のつながりを維持していくため、社会福祉協議会においては、イベントでのPR活動やチラシの配布など、加入促進に努めているところです。

また、市としても、令和7年度から、新規マンション建設の際に、開発事業者に対してその地域の特色や取組を説明するとともに、社協支部を案内し、自治会（福祉協会）への加入を誘導しています。

高齢化やコミュニティの希薄化等により、地域の福祉課題が増加している中、お互いの支え合いで不安や心配事を軽減することができるよう、今後も社会福祉協議会本部等と協議・検討を進めていきます。

## 持続可能なまちづくりを

### 【参加者からのご意見③】

廃食用油を飛行機の燃料（SAF）に資源化する取組を行ってはどうか。

### 【現在の対応について】

循環型社会の形成に向けた新たな取組として、令和7年度から、フードドライブ（※）やモバイルバッテリーなどの回収キャンペーンに合わせて廃食用油を回収し、リサイクル事業者へ引き渡すなど、資源のリサイクルに取り組んでいるところです。

（※家庭で余っている食品を回収拠点（スーパーや自治体など）やイベントに持ち寄り、地域の福祉施設や子ども食堂、生活困窮者支援団体などに寄付する活動）

### 【これからの対応について】

回収した廃食用油をSAF（持続可能な航空燃料）やバイオディーゼルとして資源化できるよう、民間事業者と協定締結等の協議を進めています。

## より安全な自転車道路の整備を

### 【参加者からのご意見④】

市内の自転車道未整備の地域において、ガードポールを設置したり、自転車と歩行者のエリアを色分けすることはできないか。

### 【現在の対応などについて】

既存の歩道幅員が広い箇所については、ガードポールの設置や色分けを、また幅員が狭い歩道などは自転車の徐行を促すシートを路面に貼り付けるなど注意喚起を順次行っています。今後も道路状況に応じた安全対策を進めていきます。

みんなの  
**尼活  
皆議**



## 部活動地域展開後の生徒の安全確保について

### 【参加者からのご意見⑤】

中学校の部活動が地域クラブとして地域主体で運営する仕組みへ移行（部活動の地域展開）するが、生徒は一旦自宅に帰って地域クラブへ行くことになるという聞いており、安全面について心配である。

### 【これからの対応について】

部活動の地域展開については、市域全体でクラブ活動ができ、生徒の選択肢が広がるというメリットが生まれる一方、移動手段が多様となるため、安全面も含めて対応が必要であると認識しています。

引き続き、保護者説明会等で頂いた意見も踏まえ、効果的な手法を検討していきます。

## 結婚以降も住み続けてもらうために

### 【参加者からのご意見⑥】

単身世帯が結婚した後も市内に住み続けられるよう、市民が結婚した際に受けられる補助を実施してほしい。

### 【現在の対応などについて】

結婚後も引き続き本市に住んでもらえるよう、若年夫婦世帯が住居を構える際に、新築・中古戸建住宅の取得に関する補助事業を実施しています。

また県外から本市に転入される若年夫婦世帯に対しても、民間賃貸住宅に住まれる際の補助事業を併せて実施しています。

こうした補助制度に加えて、まちの魅力向上や「働く」も「子育て」も応援するための各種施策を推進していくことで、多くの方に住みたい、住み続けたいと思っていただけるまちづくりを進めていきます。



（※）参加者の皆さまのご意見や取組中（または取組予定）の事業等は、代表して一部のみを掲載しています。この他にいただいたご意見等は、尼崎市公式ホームページに掲載の車座集会の対話録をご覧ください。